

B【業種別：建設業】

1. 一宮商工会地区における建設業の景況《調査対象事業所数：5》

令和7年10月～12月期の景況

◎建設業の業況D I

建設業の景況について、対象の事業所に前年同期と比較した今期の業況と今後の見通しの業況を設問により確認したところ、下記の㊦、㊧の業況D Iの表に示したとおり、今期の業況D Iは $\Delta 1$ 、今後の業況D Iは $\Delta 2$ となり、対前年比でともに2ポイント、低下しており、まだまだ不安定な見通しを持っている。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- | | | | |
|-------------|--------|--------|---------|
| ㊦業況（今期） | ①楽になった | ②変わらない | ③苦しくなった |
| ㊧業況（今後の見通し） | ①良くなる | ②変わらない | ③悪くなる |



設問の結果

㊦業況D I（今期） ①「楽になった」— ③「苦しくなった」

	①楽になった	②変わらない	③苦しくなった	D I	
業況	0	4	1		$\Delta 1$

㊧業況D I（今後の見通し） ①「良くなる」— ③「悪くなる」

	①良くなる	②変わらない	③悪くなる	D I	
業況	0	3	2		$\Delta 2$

〈令和7年〉㊦今期の業況D I $\Delta 1$ （対前年比 2低下） 〈令和6年〉㊦業況D I 1
 ㊧今後の業況D I $\Delta 2$ （対前年比 2低下） ㊧業況D I 0

◎建設業の主要D I

前年同期と比較した主要D I（売上高・採算・資金繰り）を設問により確認したところ、売上高D Iは $\Delta 4$ であり、対前年比で8ポイント悪化した。採算D Iと資金繰りD Iはともに $\Delta 1$ となっており、対前年比はそれぞれ2ポイント好転、1ポイント悪化した。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- | | | | |
|-------|--------|--------|---------|
| ○売上高 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |
| ○採算 | ①良くなった | ②変わらない | ③悪くなった |
| ○資金繰り | ①楽になった | ②変わらない | ③苦しくなった |



設問の結果

建設業景況図 ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
売上高	0	1	4		Δ4
採算	1	2	2		Δ1
資金繰り	0	4	1		Δ1

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉売上高D I Δ4 (対前年比 8悪化) 〈令和6年〉売上高D I 4
 採算D I Δ1 (対前年比 2好転) 採算D I Δ3
 資金繰りD I Δ1 (対前年比 1悪化) 資金繰りD I 0

◎建設業の業種別項目D I

業種別項目D Iは、前年同期と比較した仕入単価、受注数、従業員について設問により確認したところ、仕入単価D Iは3、受注数D IはΔ2、従業員D IはΔ1であった。仕入単価D I、受注数D I、従業員D Iの対前年比はそれぞれ3ポイント、1ポイント、1ポイント減少している。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| ○仕入単価 | ①上がった | ②変わらない | ③下がった |
| ○受注数 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |
| ○従業員 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |



設問の結果

業種別項目D I (建設業) ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I
仕入単価	3	2	0	3
受注数	0	3	2	Δ2
従業員	0	4	1	Δ1

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉仕入単価D I 3 (対前年比 3減少) 〈令和6年〉仕入単価D I 6
 受注数D I Δ2 (対前年比 1減少) 受注数D I Δ1
 従業員D I Δ1 (対前年比 1減少) 従業員D I 0

〔一宮商工会地区の建設業が直面している問題点〕

- ◎仕入価格の増加 3事業所
- ◎熟練技術者確保難 3事業所
- ◎従業員の確保難 2事業所
- ◎人件費増加 1事業所
- ◎材料人件費以外経費増加 1事業所
- ◎需要の停滞 1事業所

建設業が直面している問題点は「仕入価格の増加」「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」が多くを占めている。

《建設業者のコメント》

◆建築基準法の改正により、バタバタしている。各業種とも若手の技術者が少ない。

2. 愛知県内商工会地区の建設業の景況 中小企業景況調査（愛知県概略版）より抜粋
 ≪建設業はすべての指標で上昇≫

建設業では、売上額DIが17.4、採算DIが21.7、資金繰りDIが13.0となり、対前期比でそれぞれ4.4ポイント、17.4ポイント、8.6ポイント上昇となった。

次期は、すべての指標で悪化する見通しである。

建設業の主要DIの対前年同期比推移

- ・売上額DI 17.4（対前期比 4.4上昇） 次期予想 13.7（対前期比 △3.7悪化）
- ・採算DI 21.7（対前期比 17.4上昇） 次期予想 13.6（対前期比 △8.1悪化）
- ・資金繰りDI 13.0（対前期比 8.6上昇） 次期予想 4.4（対前期比 △8.6悪化）

〈建設業景況図〉

時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
07年 7月～9月		13.0 ↗		4.3 ↗		4.4 ↗
07年 10月～12月		17.4 ↗		21.7 ↗		13.0 ↗
08年 1月～3月 (見通し)		13.7 ↘		13.6 ↘		4.4 ↘

〔一宮商工会地区と愛知県概略版の比較〕

令和7年10月～12月の建設業の景況は愛知県概略版では売上額DI、採算DI、資金繰りDIのすべての指標で上昇した。一宮商工会地区では売上高DIと資金繰りDIは悪化、採算DIは好転となっている。今後、愛知県概略版では売上額DI、資金繰りDI、採算DIはすべて悪化するとみられている。一宮商工会地区の業況は「変わらない」もしくは「悪くなる」との回答が多くを占めている。